



平成28年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

第133号 平成28年 4月28日発行

発行責任者 松井 裕次

※ 熊本・大分でおきました地震について、亡くなられた皆様に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。南高でも、災害時の危機管理体制について、改めて点検をいたします。

校長室の窓から

自 律 心

校長 松井 裕次

ビビビッ

私の小1担任「新貝 史（ふみ）先生」が学活でこう話された。「私たち先生は、沢山勉強してきたので何でも知っています。それから、皆さんのこと、皆さんが何を考えているかも分かります。皆さんが頑張っているのも、宿題をしていないのも、良かことしよっとも、悪さしとっとも、すぐ分かります。」、その理由がすごかった。「私たち先生は、みんな秘密の場所に集められて、体中にビビビッと電気を流されて、何でも分かる体にもなっているのです」と話された。純粹だった私は、その後3年間はその話を100%信じていた。新貝先生は、優しくてきれいな先生だったが、威厳があった。まるで孫悟空がお釈迦様の手のひらで暴れ回っていたように、すべてを見透かされているような気持ちがしていた。学校で初めて学んだ「規律」だった。

自由と規律

高校時代に、課題として1冊の岩波新書が渡された。英文学者の池田潔さんが書いた「自由と規律」という本だ。イギリスのパブリックスクールで学んだ著者が、自らの寮生活のエピソードを通して、「自由は規律を伴い、そして自由を保障するものが勇気である。」と教えてくれている。野放図な自由は、本当の自由ではない。私たちの自由は、私たちが「自らを律する心」を持ち続けることで守られている。

南高では文武両道に向かう「学びの心」を「自律心」と表現している。進んで自らを律し、自ら求めて学ぶ心を身につけてほしいと願っている。「自律心」こそが、時代が求める、生徒の「主体的な学び」、チームの「協働的な学び」、新しい「創造的な学び」を生み出すと思っている。自ら学び自ら考える「思考」があれば、正しい選択、そして正しい「判断」ができる。情報を活用し「表現」する能力にもつながっていくはずだ。

司馬 光

中国 宋時代の名宰相 司馬 光 が、「勸学の歌」の冒頭で、こう詠んでいる。「子を養いて教えざるは 父の過ちなり、訓導の厳ならざるは 師の惰（おこたり）なり、父教師厳なること両（ふたつ）ながら外（ほか）無けれども 学問成ること無きは 子の罪なり」

つまり、子供を育てるに当たって、教育に無関心であるのは「親の過ち」である。教え導くのに厳しさが無いのは、「教師の手抜き」である。親が子の教育に気を配り、教師が「熱心に」教えるという両方の条件がそろって、不足を言う余地もないのに、学問が上達しないのは、子供自身の「怠け」である。

すなわち、学問が成就するための三つの条件は、教育に対する保護者の理解、厳しさをもったよい教師、本人のヤル気、の三つである。南高生は、家族から南高で学ぶ機会を与えてもらっている。そして、南高教師は、愛情の中にも厳しさを持ちなお一層の研鑽を積んでいる。これに、生徒一人一人の「ヤル気」がプラスされ、「自律心」すなわち「学びの心」を身につけたとき、必ずやそれぞれの目標を「現実のものとする」ことができる。「自律心」を忘れず、未来社会の担い手として、一步一步、成長してほしいと心から願っている。



～新任者紹介～



○森下 信秀（化学） 前任校 佐世保北高校

伝統校の南高で勤務できることを光栄に思います。とにかく、南高生の夢実現のために全力で取り組みたいと思います。毎日、南高生の元気な大きな挨拶に元気づけられています。趣味はランニングです。過去、8回のフルマラソンに参加し、すべて完走。今年も種々のマラソン大会に参加します（東京マラソンは洗練された日本一の大会でした）。どうぞ宜しくお願いします。

○浦田 久生（英語） 前任校 佐世保商業高校

元気のよい挨拶、静かな自学、式典などで前に出て話す生徒たち……。活気と創造性にあふれる学校というのが私の南高に対する第一印象です。まずは、生徒の英語力が少しでも上がるよう努力します。また、海外研修や修学旅行で中国、韓国2回、アメリカには5回行っていきますので、現地で経験したことを話していければと思っています。よろしくお祈りします。

○戒野 章子（家庭） 前任校 大村城南高校

思いがけず母校の勤務となり驚きと喜びでいっぱいです。当時あった建物やプールがなくて、だいぶ変わったなと思いつつも徐々にも校内のさまざまな部分を思い出して、懐かしさがあふれてきました。思い出多きこの佐南で、今後は後輩たちのために頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。

○種川 彰子（国語） 前任校 奈留高校

人数の多さに圧倒された4月でしたが、南高生の元気な声に「頑張らなければ！」と奮い立ちました。新しいことが始まるこの季節が大好きです。多くのことにチャレンジして、南高生に負けないよう成長したいと思っています。今年の目標は100冊以上の読破です。

○富永 美紀（物理） 新規採用

初めての県立高校勤務、初めての佐世保勤務、初めての部活動顧問、初めて尽くしを楽しみつつも慌しくすごしております。物理は物（もの）の理（ことわり）と書きます。どんな現象にも理由があって、理由がわかると日々が少し楽しくなります。朝の自学から夕方の部活まで全力で頑張る南高の皆さんに負けぬよう、物事の理由がわかる授業を目指します。よろしくお祈りします。

○長池 将希（英語） 新規採用

生まれた地である平戸から今度は学生時代を過ごした南高に勤めることになり、非常に不思議な縁を感じています。今も昔も南高生は潑刺としていて、見ているこちらまで元気がでできます。生徒と共に自分自身も教師として大きく成長できるよう、日々精進していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

○岩本 晃治（地理） 前任校 大村城南高校

初めての佐世保での勤務です。右も左もわからないままさまざまなことに戸惑いながら生活していますが、早く佐世保での生活に慣れて、佐世保での生活を楽しみたいと思います。授業や部活動など、みなさんと多くの時間を共有しながら、佐世保南の一員に早く慣れるよう頑張っていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

○永田 智揮（情報）

生徒の皆さんの元気な挨拶に、とてもすごいなと感動しました。僕は、南高の先生の中で一番若いので、生徒に負けないぐらい元気に頑張っていきたいと思っています。宜しくお願いします。

○松本 友紀（事務室） 前任校 桜が丘特別支援学校

初任の時の勤務校が佐世保南高校でしたので、再び勤務することができとてもご縁を感じています。以前勤務していた時と比べて、仕事は格段に忙しくなっているように感じますが、生徒のみなさんの元気な姿を見ながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

○中尾 侑（事務室） 前任校 東翔高校

佐世保南高校の事務室で働くことになりました。生徒のみなさんの元気で何事にも一生懸命な姿に元気をもらっています。皆さんの力になれるよう精一杯頑張りますので、よろしくお祈りいたします。

新たな風！ようこそ佐南へ！！

○入学式

4月8日（金）に第71回入学式が行われました。前日の荒天とはうってかわり気持ちの良い青空の下、真新しい制服姿の新入生が入学を許可され、本校71回生となりました。各担任が一人ひとりと呼名し、新入生は高校生活への意気込みを感じさせるような力強い返事をしていました。入学式の後には歓迎行事が行われ、2・3年生から心のこもったメッセージが送られました。



○「新入生宿泊研修について」

4月11日（月）～13日（水）の3日間、佐世保青少年の天地において新入生宿泊研修を行いました。この研修では「①挨拶・返事、②5分前行動、③顔を上げる、④思いやりの心」の4つを大きな目標として挙げ、南高生としての自覚と主体性、クラス・学年の団結力を養うこと目指しました。

1日目の校長講話からスタートした研修では、自覚や集中力に欠け指導を受ける場面も見られましたが、研修が進むにつれて表情が変わり、積極的に物事に当たるなど、生徒の成長を実感することができました。特に集団行動では、声の大きさや動作の俊敏性は時間を増すごとに改善され、上級生に負けない集団へと成長することができました。また、最終日に行われたHR紹介・校歌コンクールでは各クラス趣向を凝らした発表を行いました。僅差の結果6組が優勝しましたが、どのクラスもこの発表を通して絆を深め、今後の学校生活での活躍を期待させるものでした。



○1学年

新入生が入学して1ヶ月が終わろうとしています。新しい生活への期待と不安が入り混じった表情から、新しい仲間とともに学校生活を励んでいこうとする前向きな姿勢に変わっている生徒が多くなってきているように感じます。これからは学習習慣の確立と、進路実現に向けた主体的な取り組みを目標としていきたいと思えます。

○2学年

70回生のセカンドステージが始まりました。歓迎遠足での生徒会活動に始まり、オープンキャンパス、オープンスクールでの中学生へのサポート、修学旅行、県総文祭など、2学年では外の世界を見るチャンスが多くあります。様々な世界を見聞するたびに、自分とは何か、自分はどうかあるべきかの問いが深まっていくことと思います。南高の中核学年として、こうあるべきだという理想を高く持ち、70回生の個性を活かした充実した一年にしましょう。

○3学年

TEAM69 もいよいよ最終学年を迎えました。最終学年を迎えるに当たり、ロゴマークを一新し、キャッチフレーズを“Step at a Time”としました。これは、「いろいろな場面で、自分のやるべきことを確認して、改善するための方策を定め、一步一步、前に向かって進む」ことを意味しています。「第一志望に合格できた」、「これまでで一番勉強した1年間であった」、「センター試験で最高点を取れた」、もちろん学習面だけではなく、「高総体で過去最高の結果を出せた」、「生活面でもきちんとした学年であった」など、1年後にいろいろな面で結果を残すために一步一步、確実に歩んでほしいと願っています。着実な一步を踏み出した3年生に、ご声援をお願いします。

○海外研修【3月25日(金)～4月1日(金)】

1年生(現2年生)39名が8日間のアメリカ合衆国カリフォルニア州での海外研修を終え、無事帰国しました。本校姉妹校(ビスタマリエタ高校)の生徒・サンディエゴ市内の小中学生との交流会、語学学校での英語学習、市内各所の見学を行い、異文化の生活を体験することで多様な価値観を感じながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が見られました。交流会では、応援活動やよさこいの披露を行い、大変盛り上がりました。

現地滞在中も多くの方に支えられ、全員が無事に研修を終えることができたことに心から感謝したいと思います。この研修で学んだことを日常の学校生活につなげ、より広い視野で学習に励んでくれることを期待しています。



○生徒指導部より

新年度がスタートし、生徒の皆さんも気持ちを新たに、はつらつとした生活を送っています。その中で、まずはきちんとした身なりを整えてほしいと思います。容儀の乱れは内面(心)の乱れでもあります。将来、社会生活を送るための基本的なモラルやマナーを身につけるためには、様々な面で、自らを律する習慣を身に付けることがとても大切です。

今、熊本県や大分県では地震によって多くの人々が苦しい生活を送っています。今から5年前、東日本大震災が起こった年、第83回選抜高校野球大会の選手宣誓で創志学園(岡山)の野山慎介主将が次のような宣誓をし、日本中の人々に感動を与えました。

「宣誓。私たちは16年前、阪神・淡路大震災の年に生まれました。今、東日本大震災で多くの尊い命が奪われ、私たちの心は悲しみで一杯です。被災地では、全ての方々が一丸となり、仲間とともに頑張っておられます。人は仲間を支えられることで、大きな困難を乗り越えることができると信じています。私たちに、今、できること。それはこの大会を精いっぱい元気を出して戦うことです。『がんばろう、日本』。生かされている命に感謝し、全身全霊で、正々堂々とプレーすることを誓います。」

全ての生徒がこのような心構えであれば、すばらしい学校生活を送れると思います。この一年間、心身ともに成長できるように頑張っていきましょう。

○進路指導部より「平成28年度入試結果について」

28年3月卒業生の合格状況(延べ人数)は、国公立大学147名(国立大学81名、公立大学66名)、私立大学126名、準大学5名、短期大学8名、専門学校50名、自衛隊1名、長崎県警1名でした。合格の主なものとしては、九州大学9名、岡山大学2名、広島大学4名、長崎大学22名、佐賀大学6名、熊本大学8名、鹿児島大学8名、明治大学1名、立命館大学1名、西南学院大学6名、福岡大学16名などです。

今年度は全ての教科において新課程入試となり、受験生の負担は非常に重いものとなりましたが、センター試験後も3学年先生方と生徒達がそれまでと変わりなく一丸となって受験に向き合っていました。その中で、昨年度の3年生に続き68回生も多くの生徒が前期のみならず中期・後期まで粘り強く受験に臨み、卒業生の63.1%が国公立大学への合格を手に入れました。また私立大学等へ進学した生徒達も、必死に特別編成授業等に向き合いながらそれぞれの進路先へ進んでくれました。今年度の入試結果を分析して68回生の成果を継承しつつ情報の提供と共有に努め、69回生の進路実現のサポートをしていきたいと思ひます。

○5月行事予定

- 5月12日(木) 育友会総会振休
- 14日(土) 育友会総会
- 18日(水) 生徒総会
- 21日(土) 桜が丘特別支援学校運動会交流
- 23日(月)～27日(金) 高総体強化週間
- 30日(月) 高総体振休



○主な部活動の結果

- H28 佐世保地区高等学校バレーボール春季選手権大会
男子バレーボール部 **準優勝**
- H28 長崎県高等学校男女バレーボール春季選手権大会
男子バレーボール部 準決勝で大村工業を撃破し**準優勝**
- H28 長崎県高等学校バスケットボール春季選手権大会
女子バスケットボール部 **準優勝**

